

回復期リハビリテーション病棟の診療実績

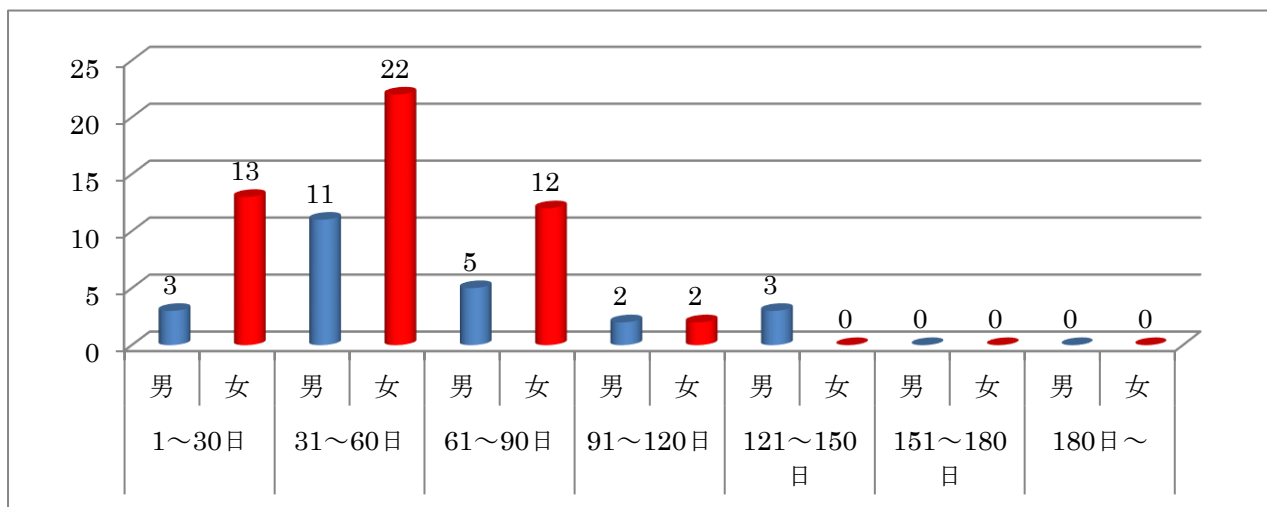
(令和5年10月～令和5年12月)

① 当院回復期リハビリテーション病棟からの退棟患者数内訳

回復期リハビリテーションを要する状態		患者数	割合
1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	21人	29.6%
2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	40人	56.3%
3	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	9人	12.7%
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	0人	0%
5	股関節又は膝関節の置換術後の状態	1人	1.4%

② 直近の実績指数 (令和5年7月～12月)・・・50.3点

③ 退院患者入院日数 (令和5年10月～令和5年12月)



④ 退院先 (令和5年10月～令和5年12月)

